

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

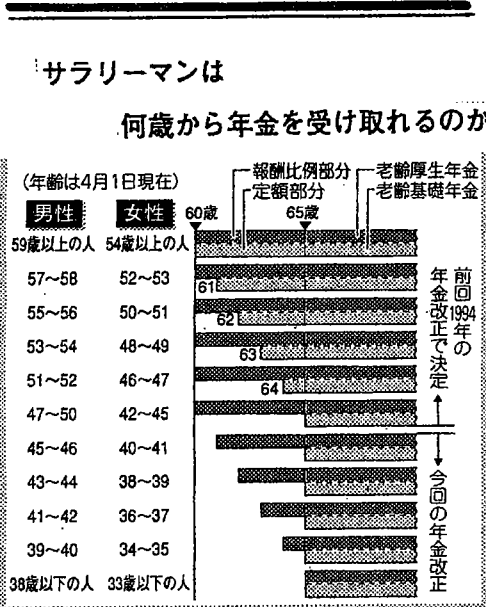
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

2000.4.6 No. 515

若者も高齢者も給付削減、支給年齢も繰り延べ!

年金改悪法 (年金制度改正) の強行成立弾劾!



改悪法は、まず厚生年金や共済年金の支給開始年齢を現在の六十歳から段階的に六十五歳に遅らせるというものである。

◎現在男性で三十八歳、女性で三十三歳以下の人は、六十五歳になるまでまったく年金がもらえないということになる。

◎現在企業の異常なリストラ・首切り攻撃の横行のなかで、高齢者の雇用状況は最悪であり、約一割強ではないか、報告されが国会審議のなかでも報告されている。仕事もない、年金もない。

三月二十八日、自公政権は年金改悪法を強行成立させた。そもそも年金は、日本の労働者人民の「老後」の生活保障として決定的に重要な位置を占めている。ましてや失業率が戦後最悪になるなど雇用をめぐる深刻な状況が続いている中で、年金は唯一の支え(命の綱)といっても過言ではない。それを抜本的に改悪するということは、労働者・人民に「死ぬ」ということに等しい。

断じてこのような暴挙！大反動を許してはならない。改悪法の重大問題を掴みとり、小沢反動政権打倒の闘いを強めよう。

仕事もない、年金もない!

支給開始年齢の引き上げは労働者に「死ぬ」ということだ!

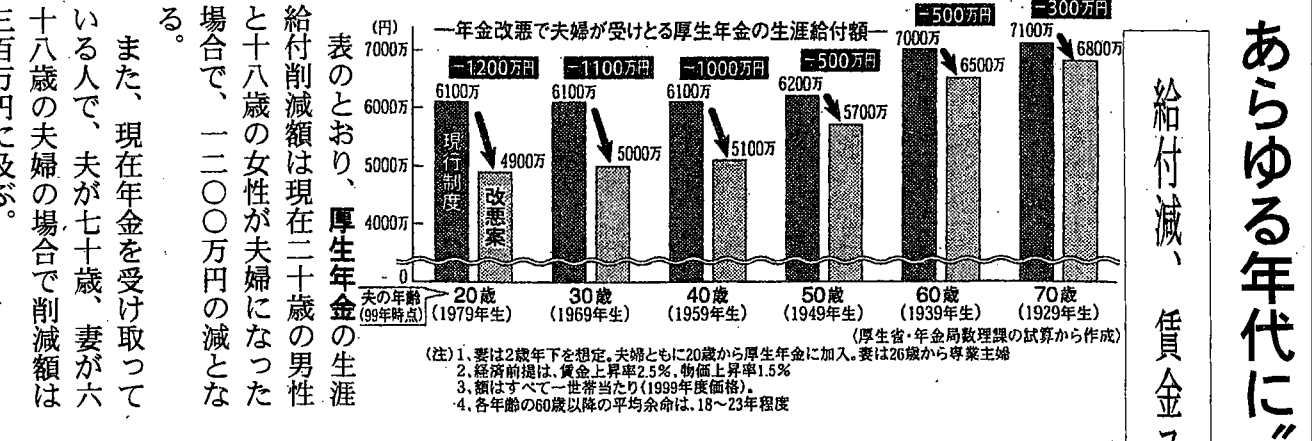
いと恐るべき攻撃が日本の全労働者人民に襲いかかっている。◎年金について、世界の動向はフランスに代表されているように、支給開始年齢を六十五歳から六〇歳に早めるなど、退職と年金支給を接続させ、老後の所得保障の切れ目をなくす方向に流れている。日本は全く逆である。こうした逆行のなかで、JR東日本が実施しようとしている「六十歳定年と再雇用の機会」の提供」という「シニア制度」は二重、三重の「犯罪」である。

掲示板

第9回貨物協議会 総会へ集まろう

日時 4月11日 18時より
場所 千葉市民会館

2000年度貨物会社事業計画は、7年連続赤字から脱却をはかるために、二桁の黒字計画を策定しました。その一端が諸経費削減=ベアゼロ回答に現れています。また、京葉線乗り入れや、年金制度改悪に伴う定年延長問題等課題は多くあります。我々の諸要求前進を勝ち取る為にも、貨物支部組合員は必ず参加してください。



また「賃金スライド」(手取り賃金の伸びにあわせて五年に一度金額を引き上げていた)を廃止する問題点である。加えて現役時代に支払った保険料に応じて額が決まる部分ー報酬比例部分の支給額の5%が削られることになる。

労働者の生活を破壊し、生存すらおびやかす小沢政権打倒へ、今、日本の資本家階級どもは「恐慌と大失業」の危機の到来の中で「安定した一年金制度すら維持できず、根幹から揺らいでいる。こうした犠牲をすべて労働者に押しつけ、「強取奪(保険料の値上げなど)と給付削減」の大衆収奪に乗り出しているのだ。

職も奪い、年金すら改悪していく。つまり生活も命すらも奪おうとする政府支配階級への怒りは、ものすごい勢いで広がって深まっている。

闘う労働運動の新しい潮流を求め、声は天の声である。

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!